

町民ワークショップニュースレター

発行日
令和7年12月

第七次函南町総合計画策定のためのWSが開催されました！！

今後10年間の町の総合的な指針である総合計画の策定にあたり、町民の皆様から、安心・まちづくり（環境・防災）分野での現状と課題、まちづくりの方向性・施策アイデアなどについてワークショップ（WS）形式で意見交換を行いました。WSは4つの部門ごとに2回ずつ開催することを予定し、今回は1回目のWSが開催されましたのでお知らせします。

日 時：令和7年11月5日（水）15:00～17:00
会議場所：函南町役場 2階 大会議室
参 加 者：33名（事務局含む）



主な意見交換内容

5つのグループに分かれて、2つのテーマについて自由に意見交換をしました。主な内容は以下のとおりです。

検討テーマ① 「自助・共助による防災対策について」

| カテゴリ | 現状と課題 | まちづくりの方向性、施策アイデア |
|--------|---|---|
| 環境 | <ul style="list-style-type: none"> 大雨による水害が多い 市街地がほぼ浸水想定区域 生活インフラの老朽化 土砂災害発生リスクが高い 防災課がない | <ul style="list-style-type: none"> 排水インフラの整備 災害（水害）が起こる場所の把握と共有 |
| コミュニティ | <ul style="list-style-type: none"> コミュニケーション不足 横の繋がりが薄い 自治会未加入世帯の増加 | <ul style="list-style-type: none"> 人と人とのつながりをメリットと思ってもらう環境づくり 自治会加入のメリットをPR 自治会運営費の補助を検討 地域防災の推進 |
| 少子高齢化 | <ul style="list-style-type: none"> 高齢の単身者が多い 単身世帯の増加 消防団の不足 人不足 | <ul style="list-style-type: none"> 若者向け移住定住PR促進 自治防災の担い手の発見発掘 |
| 避難 | <ul style="list-style-type: none"> 避難所（公共施設）の少なさ 広報が聞き取りづらい 移動経路が限定される 避難方法の多様化 避難所環境 | <ul style="list-style-type: none"> 開けた公民館の提供 学校、役場の使うアプリ等の媒体を統一化 狭い町道の改良 家族内での避難場所や経路等の共有 体育館のエアコン導入（避難場所） |
| 防災意識 | <ul style="list-style-type: none"> 防災訓練の簡略化 町民の中でも、防災意識が高い人と低い人で備蓄等に差が出る 地縁だけの体制が必要 災害用備蓄知識を得る 防災意識が地区ごとに違う、差がある | <ul style="list-style-type: none"> 防災訓練の見直し 区ではなく組など少人数での研修 自分の町は自分たちで守り助け合う（互助） 災害時充電スポットの周知 ローリングストック 家族内のハザードマップ共有 学校教育、地域防災の推進 |

検討テーマ② 「一人ひとりができる地球温暖化に対する取り組みについて」

| カテゴリ | 現状と課題 | まちづくりの方向性、施策アイデア |
|--------------------|--|---|
| CO ₂ 削減 | <ul style="list-style-type: none"> ・車社会であり、どこに行くにも車移動 ・交通渋滞がすごい（特に夏場） ・脱炭素などでメリットを感じられない  | <ul style="list-style-type: none"> ・自動車の排気量等の周知 ・自転車の活用 ・公共交通機関の充実 ・渋滞の緩和 ・地域の自動車屋と協力し、電気自動車の推進を ・脱炭素にメリットを |
| 意識認識 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境に関する様々な説がありよく分からぬ ・一人ひとりでは限界がある ・温暖化に対する一人ひとりの意識に差がある ・省エネ目的の補助金利用が進んでいない ・函南町が推進すべき“町民が取り組むことで効果のあること”は何か？（電気・ゴミ・ガソリン・水道等） | <ul style="list-style-type: none"> ・正しい情報の発信（身近でないため） ・エコポイントや減税など ・食品ロスの削減 ・季節に合わせた服装に対する認識の見直し ・早寝早起き ・温暖化していくことを前提とした取り組み ・温暖化対策にお金は使わない ・健康ポイントの普及 |
| 節電 | <ul style="list-style-type: none"> ・エコ家電の普及 ・グリーンカーテン、使用電気を減らす | <ul style="list-style-type: none"> ・LED化の推進 ・2重窓の補助金を上げる ・山の利用（キャンプなど） |
| 猛暑 | <ul style="list-style-type: none"> ・避暑地を求めている ・夏に活動ができない ・暑さがすごい！エアコン使用率が高い ・通学路に緑がない | <ul style="list-style-type: none"> ・学校に自販機導入計画 ・屋根スペースを増やす（パラソル） ・公共の空冷避難場所 ・天然の流れるプール |
| リサイクル | <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの分別の徹底が難しい ・1日一人当たりのごみが県平均より多い ・分別の徹底、水気をきる、紙おむつの取扱い  | <ul style="list-style-type: none"> ・分別に対して何かメリットを設ける ・フリーマーケット、リサイクル市の拡大 ・生ごみをうまく処理する（周知補助） ・昔役場にあった当たり付きアルミ缶収集機 ・ゴミ出しの町内統一ルール ・ゴミ袋の値段を上げる ・細分化によるリサイクル化 ・エコ商品を選択する  |

アイスブレイク

ワークショップ開始前に皆さんの自己紹介を兼ねて函南町の好きなところ・魅力について聞いてみました。

●観光・景観

周辺に観光地がある／山から見る夜景／伊豆の入り口・四季の変化／猫おどり／春の桜の風景（かんなみざくら）

●自然

自然豊か／函南町から見える富士山／程よい自然・生活環境／水が美味しい

●生活環境

ほどよい田舎／駅が二つある（函南、伊豆仁田）／暮らしやすさ（気候、周辺環境）／何もない町だが暮らしやすい／田舎ののどかさと都市部の混在／子どもがのびのび遊べる公園・広場がある／スーパーがたくさんある

第2回 町民ワークショップの予定 <安心・まちづくり（環境・防災）分野>

日時：令和8年1月14日（水）15:00～17:00

場所：函南町役場 2階 大会議室、内容：具体的な施策や事業、重点的に取組みたいこと など

お問合せ 函南町役場 総務部 企画財政課（第七次函南町総合計画策定担当）

〒419-0192 静岡県田方郡函南町平井 717-13 TEL 055(979)8100/FAX 055(979)8148